

# 淳城西小の先生方に聞く！（第1回）

授業改革推進チームの研修として、オンラインで淳城西小学校の先生方と交流し、淳城西小の実際  
の取組を学んでいます。今号では、第1回の概要を紹介します。

第1回テーマ：「淳城西小学校の学習指導部の取組及び授業づくりの実際」  
ゲスト：高橋 暁子 教諭（研究主任）



「いつも元気な高橋先生」  
淳城西小5年生作

## ①学習指導部の取組

学習指導部では、毎月の目標を立て、取り組むべきことやそろえることを先生方が意識できるようにしている。目標の反省やその改善点、次の月の目標に向けどんな取組ができるかなどを部会で話し合い、それを管理職と3つの部会の主任等で構成された運営委員会で話し合った後、職員会議で共通理解を図るようにしている。

毎月、共通の実践を行い、その反省に基づき、次の取組を提案することで、小さなPDCAサイクルを何度も回すようにしている。

## ②育てようとする基礎的・汎用的能力

### （資料①）

「**教科の枠を越えて、実社会に役立つ**基礎的・汎用的能力の育成を目指す」という目標を踏まえて、系統表を作成し、全校で取り組んでいる。この表は、現行の学習指導要領に移行するときに作成した。この表を、児童にも分かりやすい言葉に言い換えたものを各教室に掲示し、児童も意識できるようにしている。

学習指導案を作成するときには、単元で育てたい力の中に、この表の中のどの力を育てたいのかを明記するようにしている。

## 2 育てようとする基礎的・汎用的能力系統表（○重点的に指導する学年）

		具体的な資質・能力	1年	2年	3年	4年	5年	6年
A 主体的 学び による 「自己 学習力」	ア	学習活動を振り返り、次にかんがりたいことを自己評価する。	○	○	—			▶
	イ	友達の活動や考えを、目的に合わせて評価する。		○	○	—		▶
	ウ	課題やめあてについて自己評価する。			○	○	—	▶
	エ	単元の学習全体を振り返り自己評価する。				○	○	▶
	オ	学習したことを実生活・実社会に生かす。					○	○
B 対話 力	ア	相手の考えに関心をもって聞く。	○	○	—			▶
	イ	自分の考えを相手に話す。	○	○	—			▶

資料①：「育てようとする基礎的・汎用的能力系統表」の一部

## 研修に参加した先生方からの質問

Q：主体的な学びの重点実践事項として「見通し」と「振り返り」が挙げられているが、どのように取り組んでいるのか。



A：**授業のゴールを明確にした上で、子どもに学習の見通しを持たせ、その学びがどうだったのかを振り返るための時間を確保するように意識して、1単位時間の授業づくりを行っている。**秋田県では、ゴールで目指す子どもの姿は、どんな姿であればいいのかということをよく問われる。

Q：児童の問いを生かした課題づくりについて、授業づくりの段階でどのような準備をするのか。



A：子どもから自然と疑問が生まれるように、**どの既習事項を提示するか、どんな資料を準備するかを考えている。**子どものノートをチェックし、**前時の振り返りを紹介する**こともある。しかし、準備していても、授業中のやりとりの中で、想定していることと違う方向に進むことはよくある。なるべく子どもの思考に沿うようにしているが、大きくずれる場合は軌道修正をすることもある。

## ～難波指導教諭のつぶやき～

「淳城西小学校では、たくさんの取組をされていますが、働き方改革はどうですか？」と岡山の先生方から聞かれることがあります。淳城西小学校の先生方は、「**限られた時間で最大限の取り組みをする！**」ことを心掛け、優先順位をつけて取り組むことで、負担を減らす工夫をされています。

